

言葉でつながる学級づくり —あたたかことばの木の実践—



あたたかことばの木

目的

- ・ありの台小学校の子ども達が思いやりを持った優しい人になって欲しい
- ・やさしさの輪が広がってあたたかい小学校になって欲しい

準備物

- ・A3の白画用紙2枚
- ・茶色の画用紙(木の幹)
- ・子どもたちが書く葉っぱ

方法

1. ありの台小学校の子ども達にクラスの子の優しい所や感謝を書いてもらう
2. 用意している木の台紙に貼る

掲示場所

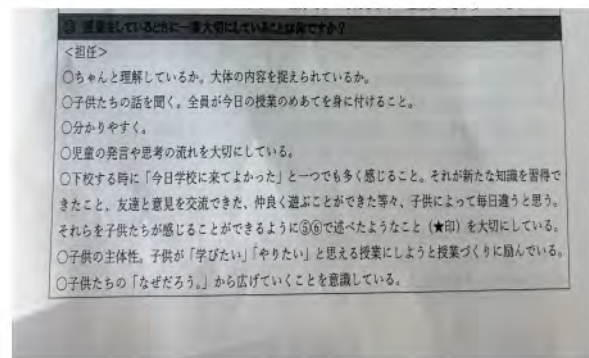
職員室の窓に各クラスごと

私たちが先生への質問、回答

Q.授業をしているときに一番大切にしていることは何ですか？

A.下校する時に「今日学校に来てよかった」と一つでも感じる事。

- ・それが新たな新たな知識を習得できたり、仲良く遊ぶことができたこと、子どもたちによって様々である。
- ・子どもたちがたちが主体的取り組もうとする授業作りに励んでいる。【一部抜粋】



まとめ

小学校支援を通して、子ども一人ひとりの個性や成長の早さが違うことを改めて実感しました。授業中の声かけや見守りの大切さ、先生の丁寧な関わりが子ども達との信頼関係に繋がり良い学級を築いていると感じました。また、子ども達の笑顔に元気をもらい、私達も多くを学ぶ貴重な経験となりました。

この貴重な経験を活かしそれぞれ将来に向かって精進していきます。

【謝辞】

本年度ご多用の中、私たちが温かくご指導くださいました、ありの台小学校の皆さん、心より御礼申し上げます。

児童のために

甲緑小学校の校内の環境整備、授業の支援を行いました!!

休み時間

- ・お絵描き
- ・腕相撲大会
- ・ドッジボール
- ・鬼ごっこ
- ・によつき対決



児童が思ったよりも人懐っこくて、大学生の自分たちを受け入れるのが早く、自分たちから遊びに誘わなくても児童たち自ら進んで輪に入れてくれたりしてくれました。また、児童たちのパワフルな元気さに驚きました。



掃除

- ・溝の落ち葉拾い
- ・溝の泥掃除
- ・フェンスの端を曲げる
(飛び出している部分が危ない)
- ・エアコンの掃除
- ・教室の床の油がけ



先生は授業だけでなく、児童が気持ちよく、安全に学校生活を送るために、学校の環境を整えなければならぬと知った。

授業

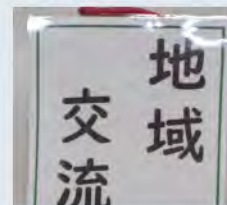
- 各クラスに入って授業を補助
- Ex) ミシンや彫刻刀の使い方の補助
- テスト直しの手伝い
- 体育の授業の見守り



授業に先生として参加したことで、先生は授業の時間内で児童が内容を理解しているかだけでなく、クラスの一人として授業に参加できているかをよく見ておかなければならないと学んだ。また、実際に先生から小学校の先生をしていて楽しいという言葉が聞けることができ、先生になりたい気持ちが強くなった。

地域交流会

- ・地域の方々、教員と意見交流
- Ex) 地域の防犯上気を付ける場所見守り隊の人数減少
- 子どもの人数減少
- 中学校の進学先選択



学校内だけでなく、地域全てで児童の事を考えている事に驚いた。定期的に意見交流をする事によって、今だけに目をむけるのではなく、未来に関しても考える大切さを学んだ。

活動のまとめ

- ・教員として、授業だけでなく校内外の環境に目を配ることで児童の事を常に考えている。
 - ・どの先生方も生き生きとした表情で働いており、先生になる為に努力しようと思えた。
- 今回の活動を快く受け入れてくださった甲緑小学校の方々、メンターである田村先生今までありがとうございました。

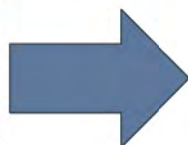
桜の宮小学校のウサギ小屋解体

小学校内に何も中にいないウサギ小屋が放置されており、倒壊の危険もあったため解体することに決めた。

ウサギ小屋解体の流れ

- 1, 柵の解体 小屋の周りの白の柵を取り除く。
- 2, コンクリートの土台の破壊 ハンマーを使って破壊。
- 3, 壁の解体 木の板で作られた壁を解体。
- 4, 柱の解体 屋根を崩す前に主要な柱を取り除く。
- 5, 屋根を倒す 屋根を倒して解体完了。

ウサギ小屋の解体前と後



解体の工夫点

- ・ハンマーを振る際ハンマーの重さを利用した。
- ・ハンマーを使う際振りぬいた方向に人がいないように気を付けた。
- ・怪我をしないよう軍手やゴーグルの装備。

解体の流れ

- 1日目 柵と土台の解体
- 2日目 壁、柱、屋根の解体

活動のまとめ

今回の活動で私たちはウサギ小屋解体の他に主に学校の修繕作業を行いました。学校の先生方からも感謝されてやりがいを実感できました。今回の活動を活かして次の地域共創の場でも活躍したいと考えています。

今回協力してくださった桜の宮小学校の皆様、メンターの先生ありがとうございました。

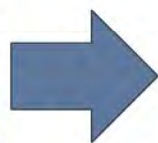
班員コメント

- ・初めて使う工具が難しかった。
- ・激重ハンマーの力の入れ方が難しかった。
- ・縄を使って小屋を引き倒すのに苦労した。
- ・常に危険と隣り合わせで怖かった。

気づけば学びはそこにあった

私たちは小部小学校の学習園の草抜きとスクールサポーターの活動をしました。

学習園の清掃 & 環境整備



小学校を実際に回り、自分たちで適した課題を探すようにした。その結果、学習園の清掃 & 整備を行うことに全員で決めた。課題を探す上で決して受動的にならないよう意識した。

授業参加 & お楽しみ会



小学生相手に教えることは難しく大変だった。担任の先生に助けられる場面が多々あって、先生の凄さを現場に入ることによって肌で感じた。最後の日には自分たちで企画した、ビンゴゲームを開催して子どもたちの気持ちを考える時間が多くあり、学校の授業では味わえない体験ができて自分たちのこれからの糧になった。

活動を通しての感想

環境整備を行うことにより、子ども達の安全に過ごせるように考え、新たな活動にも繋がると考えた。また、自ら整備を行ったことで、何気なく使っている学習環境は多くの人の支えにより成り立っていることを学んだ。

授業では子ども一人ひとりの理解の速さと反応には大きな違いがあり、寄り添った支援の重要性を知ることができた。

学習指導だけでなく日常的な関わりも教育の一部であることを学び、子ども達の声かけや関わり方の重要性を学んだ。

子どもと触れ合おう ～小部東小学校～



ぼくは1年2組に入らせていただき、生徒や担任の先生の手助けをしました。実際に教育現場で子どもと関わることができて、いい経験になりました。 市野

子供との接し方と授業の進め方を中心に深く学びました。子供との休み時間や授業中での関わり方、小学校での先生の過ごし方について、実際に見て体験して感じる事が多く今後の自分のためになるいい経験になりました。 荒池



学んだことは、子どもとの関わり方や授業の進め方、遊びなどのルールの決め方、空いた時間の過ごし方など子どもが安心して生活できる教員の学校づくりについて学ばせてもらうことができました。 大野

今回の活動を通して印象に残った点は、子どもたちの素直さです。明るく素直な子供たちに応える教師になるために、足りない部分を知ることが出来た貴重な機会でした。今回足りてないと感じたことをこれからの学校生活で学んでいきたい。 田平

この地域共創科目で、教育現場の現状と子供への接し方を学びました。教育実習が始まる前に実際に教育現場を体験できて、とても将来的にプラスになる経験を積めたと思うのでこの科目があって良かったです。
行司

小部東小学校
ありがとう!!!



僕たちの小学生日記。

授業補助から雑用まで谷上小学校のお役に立てるように尽力しつつ
 休み時間では子供たちと触れ合い
 今後現場に立った時に役立つスキルを身に付けられるように努力しました

活動実績

①大雨で落ちてきた落ち葉や竹を袋に詰めて指定の場所まで運ぶ

この作業で管理員さんの大変さ、小学校は先生と生徒だけで成り立っていないことを改めて実感した（加藤）

学校がずっと綺麗に保てて快適に過ごせているのは、管理員さんや事務員さんのおかげなんだと気づくことができました（田口）

この作業を通じて管理員さんの大変さが知れた。管理員さんへの感謝を忘れないようにしたい。（山田）



②休み時間に子供たちとふれあう

子供たちの体力の多さ自分から話しかけに行くことの大切さを学び、この学校特有なのかもしれないが、学年の垣根を超えた仲の良さに驚いた（加藤）

小学生の元気さスタミナに何回も負けました。（田口）

子どもたちの体力の多さに驚いた。なによりも楽しそうにしていたことがうれしかった。（山田）



③地域紹介 ポスターセッション

姿勢や発表速度、どのような工夫で子供の関心を引いた発表が出来るか等、学びの多い時間だった（加藤）

子供たちにわかりやすく理解してもらえるように、見出しを大きく書いて工夫しました。（田口）

ポスター作成では言葉だけでなく、子どもたちにわかりやすいポスターを作ることに苦戦した。（山田）



活動のまとめと謝辞

今回この活動を通して現場に出た際に必要とされる基礎知識、応用力が圧倒的に足りていないと実感する良い機会になった。なァなァに大学生活を過ごしていくのではなく、卒業後は現場に出るんだという自覚を持って、今後3年間改めて頑張っていきたい。

今回の活動に携わってくれたメンターさん谷上小学校にはなかなか全員揃うことが出来なかったが、多くの体験知識を伝授していただき誠にありがとうございました。今後この活動を糧に精進していきます。

児童と仲良くなれました！

活動内容

- ・授業サポート（各々の教室に分かれてしました）
- ・遊び計画



坂本裕章：1年2組

生徒との関係もしっかりと確立しており、私達にもすぐ心を開いてくれました。朝早くでしたが、それ以上に元気をいっぱい貰い行くたびに力が湧き上がる感覚がありました。

今回の小学校を通し人との出会いの大切さを学ぶことができました。



高橋 瞳衣：1年1組

今回1年生の教室に入って、積極的に授業に取り組む姿勢や、大きい声で挨拶をすることを思い出させてくれました。

教室に入ると大きな声で挨拶をしてくれたり、問題を出されたらみんなと言っていいほど手を挙げ発表している姿を見て積極性を感じました。



鶴岡果奈:2年2組

授業に対する生徒の積極性や担任の先生のユーモアさに感動したと同時に、私自身も教員になった時に、生徒が前向きに挑戦できるクラスづくりをしたいと思いました。

登野原大飛：2年1組

授業の様子を見ていて児童側と担任の先生側の視点で見ている、将来の役に立つと思う気づきが多くありました。

給食を一緒に食べたり休み時間に鬼ごっこでひたすら鬼をやったりして楽しみながら学べるとてもいい経験でした。

先生方も優しく接してくれたので次回も可能なら行きたいです。

全体で行った活動：1年生、2年生

今回の活動では、フラフープを使った遊びを計画、実行しました！

結果は大成功で児童たちもとても楽しんでくれていて計画して良かったと思いました。

全体の感想として毎回の授業に学びがあり、将来の役に立つことばかりを経験させていただいて達成感と共に、受け入れてくださった校長先生やその他の教員の方々に深く感謝しています。

南五葉小学校で 出会った子どもたちの成長とその感動

①気づいたこと ②うれしかったこと

1年

- ①よくできていたらまず全肯定してあげること！そしてほめてあげること！
- ②最初は話してくれなかった生徒が、最後には心を開いてくれたこと。

3年

- ①最後まで諦めずに頑張っているところを見守りつつ支えること！
- ②分からない問題を教えた時に「分かった！先生ありがとう」と言ってくれたこと。



5年

- ①こちら側から話しかけることで子どもたちも心を許してくれるようになる。
- ②音楽の時間に実際に子どもたちの前で指揮を振らせてもらった。



4年

- ①子どもたちの「できた」を見逃さずほめることが大切！
- ②先生！と呼んでくれたり、教室に入った時に子どもたちが嬉しそうな表情をみせてくれたりしたこと。

～南五葉小学校音楽フェスティバル～

子どもたちが休み時間にも沢山練習をしていて、本番では完璧な演奏や、歌声をみせてくれてとても嬉しかった。各々担当したクラスは特に感動して涙が止まらなかった。😭

Let's 北五葉!!

北五葉小学校に訪問し、児童と関わる楽しさ・児童から貰えるパワー
・先生の凄さを改めて実感する貴重な体験をしました!!

●小学校支援において苦戦した点

学年、クラスごとに雰囲気の違い、同じような対応ではうまくいかなかったこと。校外で学習するときは、交通や道の誘導など視野を広くして行動したこと。自分の言葉1つ1つに責任を持って発言しないといけなかったこと。

●研究授業で学んだこと

授業を公開することで、指導力の向上やパソコンなどを使うことで普段の授業より効率よくすることができ、学校全体の教育力向上に繋がっていくことを学んだ。

●仲良し学級の児童とのコミュニケーション

仲良し学級では肢体不自由の児童がおり、車椅子操作をした。「仲良し学級」というワードに捉われず元気よく話しかけることが大切だとわかった。仲良し学級の児童も気さくに話しかけてくれ、頑張ろうというパワーをもらえ

●小学校支援をこれからどのように生かしたいか

この活動で何度も耳にした「クラスは担任のカラーに染まる」という言葉を心に留め、ひとりひとりの子どもに寄り添い、児童と教師、また児童同士においても共感的な人間関係を大切にしていきたい。

●児童と関わる上で大切にしたこと

教えること以上に子供の話を最後まで聞くことを大切にした。児童が安心できる関係づくりを大切にした。

<印象に残ったこと>

- ・教える立場という今までにない貴重な経験になった!!
- ・実際に授業に参加して、児童達に分かりやすく勉強を教えるのは難しいことが分かった!
- ・先生方の見えない頑張りを間近で見ることができた!
- ・子どもとのコミュニケーションにおいて大切にすべきことが明確に分かった!

難しい...



休み時間の有効活用について

児童たちの体力向上のため、休み時間の有効活用に取り組みました！

<ドッジビー>

目的

- 1,児童の体力の向上を図る
- 2,クラスの団結力を深める
- 3,普段、外へ出ない子に
身体を動かすきっかけを与える
- 4,ドッジボールとの違いについて考える



取り組みの内容

- ・ 3年生の部と4年生の部に分けて実施し、試合時間は4分間
- ・ できるだけチームのみんながフリスビーに触れることが出来るようチーム内で譲り合う
- ・ どうすれば勝てるのかチームのみんなで協力し、声を掛け合ってコミュニケーションをとってもらう

実施した感想

児童たちみんなが、楽しそうに試合をし、コミュニケーションも問題なく取れているように見えた。ルールやラインが曖昧だったため、とまどっている様子も見られたのでそこが課題だと感じました。

その他の活動...

伺った時期が音楽会シーズンだったため音楽会練習にもお手伝いとして参加させていただきました！



小学校支援in有野小学校

4人が1～4年生のクラスに分かれて授業のサポートをした

1年生

みんな元気いっぱいとても賑やかだったクラスだった。教室での授業だけでなく音楽、図書、体育などたくさん授業と一緒に受けた。

20分休みにはみんなで汗をかくくらいたくさん動き回って遊んだ。みんなで移動するときも途中で途切れてしまうなど**一斉にクラス全員を連れて行くのも一苦労**だった。よく喧嘩をしていたので先生も何度も児童から話を聞いて納得いくように仲直りを促していたり、授業が難しくついていくのが難しい子には丁寧についてあげるなど『**みんなでクラスに参加する**』という先生の意識が感じられた。

先生の話聞いていたのに途中で友達と話が盛り上がりつつある時は**先生が手をたたいて注目させるなど工夫**が見られた。



2年生

授業中も休み時間も皆それぞれの個性で溢れていて、常に新鮮な雰囲気だった。**それぞれの努力の方法で学習に向かい合ってる様子や、率先して仲間を引き連れ遊ぶ様子**からは、子どもならではのフレッシュさを感じた。

進捗が芳しくない子があれば言葉を交わしながら向き合った。時には子供達から積極的に質問をしてもらえた。授業だけではなく、休み時間もたくさんの児童とふれあう機会を得られた。全身で子供達の楽しむ空気に触れ、より仲を深めることができたと思う。

毎回の活動終わりには最後まで見送ってくれる子や、まだ帰って欲しくないと言わぬ子等、親しみを持ってもらえてると実感しました。

3年生

少し自分の気持ちをコントロールできない男の子のサポートをさせてもらった。**見届け自由にさせてあげる部分と注意する部分を見分けることがすごく難しいと感じた。**

子ども達は少しの事で喧嘩をしたり感情が込み上げ泣いてしまう子が沢山いる中でただ怒って注意するのは無く、子ども同士で意見を言い合い、**泣くだけでなく自分の思っていた事を言葉で伝えて仲直りをしていく事が大切**だと先生の行動をみて沢山学ぶ事ができた。

小学生は自分の事だけでなく、友達や先生など他の人の事も少しずつ考えられるようになる時期だと思うので、子ども達が感情豊かに沢山の友達と協力しながら生活できるように**先生は授業中にグループ活動を増やすなど子どもたちが生活の中から沢山の事を学べる環境をつくる事が大切**だと思った



4年生

主に、テストを出席番号順に並べ替えるなどの学級運営の補助や、ランドセルの中身が整理できていない児童への生活面の支援を行った。また、授業中には理解が十分でない児童に個別に声をかけ、学習のサポートをした。さらに、20分休みには児童と外に出て一緒に遊び、**信頼関係づくりを意識**して関わった。4年生は元気で活動的な児童が多く、教室が騒がしくなる場面もあり、先生が指導に苦労されている様子が印象に残った。また、授業中にノートをきちんと取らない児童もおり、学習に集中させることの難しさを感じた。

そこで、**強く注意するのではなく、近くで静かに声をかけたり、ノートの書き方を一緒に確認したりすることで、児童が自然に授業に戻れるよう工夫**した。



本来なら1回生ではできない現場での活動をさせていただき、とても勉強になりました。

児童が理解できるように教えることをはじめ。友達との関わり方や生活面の支援など、さまざまな場面で必要な対応の難しさを実感しました。

有野小学校の先生方、一緒に授業を受けてくれたみんな、メンターの来田先生、ありがとうございました。

生徒と関わることは意外と難しい?

鈴蘭台小学校の生徒にふれ合っていく中でどのように接していくのが良いのかを考えていき、そこで考えた事を生かして生徒が最大限楽しめるような**お楽しみ会**を開催しました!

3日間の授業の観察

1日目・・・1, 2年生の授業を見て、思ったよりも全員が大人しくて、もっとはしゃいでいるイメージがあった。

2日目・・・3, 4年生の授業を見て、1, 2年生と一見違いが無いように見えたが言葉使いが上手くなっており、思ったことをすぐに口に出さないようになっていてとて も驚いた。

3日目・・・5, 6年生の授業を見て、今まで見てきた学年よりも圧倒的に大人しくて、もう小学生ではなくなるのが伝わってきました。

お楽しみ会の様子

お楽しみ会を1・2年生、3・4年生に対してお楽しみ会を行った!



給食!

おいしかった!



まとめ

今回鈴蘭台小学校で活動をして、各学年ごとに接し方を変えていかなければいけない事が分かり、生徒に対してどのような言葉遣いをするのかや、どのような態度で接するのが良いのかを知ることができました。

そして、生徒と関わることは、物事を教えることは難しいが、一緒に作業や遊びをすることは、簡単だということが今回の活動で分かりました。